

# 第11回マーチング&バトンステージフェスティバル 審査規定 ～バトン・カラーガードの音部～

## 1. バトン部門審査内容（全ての内容を 北田 有加先生が担当）

### (1) 作品完成度

①実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドロップやミスのない到達度の高い、完成された作品</li> <li>・個々の責任意識が高く、グループプレーや協調性の高い演技</li> <li>・グループとしての同調性</li> <li>・正確なポジションワークと困難度あるステージングの展開</li> <li>・リズムやタイミングの統一性、多様性</li> </ul>
②表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のテーマを主張した、視聴覚の調和された表現</li> <li>・フロア、立体、空間によるステージングデザイン</li> <li>・ユニゾンやアンサンブル、ハーモニーのバランス</li> <li>・観客への作品アピールやショーマンシップ</li> <li>・プロジェクションや自信ある演技、リカバリー能力</li> </ul>

### (2) 全体的効果

①作品効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確なテーマとプログラムコンセプト</li> <li>・集団美が活かされた作品</li> <li>・創造的で独創的な多様性あるプログラム構成</li> <li>・視覚と聴覚の一体性</li> <li>・衣装やプロップの色彩、デザインと作品との調和</li> </ul>
②演技効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の理解、解釈</li> <li>・音楽の理解、解釈</li> <li>・バトンとボディーワークによるデザイン</li> <li>・フロア、立体、空間によるデザイン</li> <li>・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク</li> <li>・ミュージカルティー、観客への作品アピールやコミュニケーション</li> </ul>

### (3) パフォーマンス

①バトン トワーリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バトンテクニックの正確さ、優秀さ</li> <li>・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性</li> <li>・トワーリングの多様性、困難度</li> <li>・エフェクティブなバトンの使い方</li> <li>・集団演技の複雑性</li> <li>・トワーリングリズムと音楽リズムの調和</li> <li>・バトンとボディーワークやステージングの困難度ある組み合わせ</li> </ul>
②ボディー ワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディーワークの正確さ、優秀さ</li> <li>・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性</li> <li>・ボディーワークの多様性、困難度</li> <li>・エフェクティブな動きやアングル</li> <li>・集団演技の複雑性</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスリズムと音楽リズムの調和</li> <li>・ボディーワークとバトンやステージングの 困難度ある組み合わせ</li> </ul>
③ステージング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムーブメントの正確さ</li> <li>・グループスタイルやリズム、タイミングの統一性</li> <li>・スムーズで困難度あるフォーメーションの展開</li> <li>・ポジションや方向、高低、遠近感によるフロアワーク</li> <li>・フロアと立体、空間のステージングデザイン</li> <li>・フロアデザインと音楽の調和</li> <li>・ステージングとバトンやボディーワークの 困難度ある組み合わせ</li> </ul>

## 2. Div1 の審査

※エントリーなし

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各内容7つの観点についてA～Eの5段階評価をし、  
Aが5点・Bが4点・Cが3点・Dが2点・Eが1点に  
換算し、その合計点を集計する。その後 35 点満点を100点満点に換算  
(20/7 倍して、小数点以下四捨五入の整数値)
- (3) 100 点満点中、75 点以上を金賞、74 点～55 点を銀賞、  
54 点以下を銅賞とする。
- (4) 同一カテゴリーで複数団体のエントリーがあった場合、もっとも  
優秀な1 団体に審査員特別賞を授与する

## 3. Div2 の審査

※エントリー8団体

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、Div1 に準ずる。(評価あり、点数なし)
- (3) 全団体に優秀賞を授与する。バトン団体すべての団体から、もっとも観客を魅  
了したと判断された3 団体にフェスティバル賞を授与する。

※Div1 と Div2 のすべての部門でICレコーダ審査を行う。

## 4. Div3について

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 全団体に感謝状を授与する。

#### 4. カラーガード部門講評内容

##### (1) 全体的効果とアンサンブル (篠原 修先生)

①全体的効果 …作品の効果と解釈・表現	・視覚と音楽の調和 ・表現の幅と質 ・コーディネーション	・独創性と多様性 ・ショーマンシップ ・完成度
②アンサンブル …構成・演技の質と技術	・統一性 ・視覚的音楽性 (フレージング、解釈、強調) ・同一性 ・リカバリー	・表現慮 ・多様性 ・全体的技術 ・鮮明度 ・アーティキュレーション

##### (2) ボディーワーク (北田 有加先生)

①表現形式	・バラエティー ・コンビネーション	・ダイナミックス ・適正
②理解度と達成度	・トレーニング ・ポジション ・リカバリー	・コントロール ・融合 ・タイミング

##### (3) カラーガードの技術 (山崎 浩先生)

①表現形式 …手具の動作	・バラエティー ・コンビネーション	・ダイナミックス ・適正
②理解度と達成度 …手具の操作	・トレーニング ・融合	・コントロール ・リカバリー ・タイミング

#### 5. Div1 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、大会運営に協力すること。
- (2) 各内容6つの観点についてA~Eの5段階評価をし、  
Aが5点・Bが4点・Cが3点・Dが2点・Eが1点に  
換算し、その合計点を集計する。その後 30 点満点を100点満点に換算  
(10/3 倍して、小数点以下四捨五入の整数値)
- (3) 100 点満点中、75 点以上を金賞、74 点~55 点を銀賞、  
54 点以下を銅賞とする。

#### 6. Div2 の審査

- (1) タイムオーバーによる失格はないが、申告時間を遵守すること。
- (2) 審査方法は、Div1 に準ずる。(評価あり、点数なし)
- (3) 全団体に優秀賞を授与する。

※すべての部門でICレコーダ審査を行う。